≪令和８年第２回大空町議会定例会一般質問通告内容集約書≫

【６名６件】　〔令和８年６月１７日整理・大空町議会事務局〕

質問日	順	質問者	質問事項	頁
	1	仲西　政克　議員 （質問時間 30分） 質問受付： 令和 8年 6月15日 午後 1時25分	1．女満別研修会館の建て替えについて	1
	2	川村　　淳　議員 （質問時間 30分） 質問受付： 令和 8年 6月16日 午後 3時40分	1．大空高校生に対する大学等進学支援制度の創設について	2
	3	上地　史隆　議員 （質問時間 30分） 質問受付： 令和 8年 6月16日 午後 3時50分	1．人口減少対策の取り組みについて	3
	4	森賀　祐司　議員 （質問時間 30分） 質問受付： 令和 8年 6月17日 午前10時25分	1．町政執行方針について	4
	5	岩原　　繁　議員 （質問時間 30分） 質問受付： 令和 8年 6月17日 午後 2時00分	1．持続可能な地域医療体制の確保について	5
	6	鈴木　秀之　議員 （質問時間 30分） 質問受付： 令和 8年 6月17日 午後 2時10分	1．暮らしを支える専門技術人材の確保について	6

※　一般質問は「一問一答方式」にて、通告順により行われます。
※　傍聴席入口に掲示の傍聴規則を順守の上、携帯電話の電源はお切りくださるよう御協力をお願いします。
※　御不明な点などがありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

◆　一般質問者：【議席番号　１番　仲　西　政　克　議員】　　　　　　Ｎｏ．１

質問事項	質問の要旨	質問相手
１．女満別研修会館の建て替えについて	大空町女満別研修会館は、昭和４７年に建てられ５０年以上が経過し、老朽化のため、令和９年に取り壊しが計画されています。その後、令和１０年に新しい施設の建築が予定されていることから、次の項目について伺います。 １　女満別地区の中心に町民の集まれるスペースとして、町の中に散らばっている施設を１つにして人件費の削減、移動距離の短縮など新しい町の建物として大変期待しているところですが、どのような建物をイメージしているのか伺います。 ２　世界で起きている戦争等で、物価が上昇しています。資材価格や建築費は毎年上昇しています。近隣の自治体においても庁舎の建て替えに要する建築費が膨らみ財政が大変厳しいとニュースや新聞等で報道されました。町民の中には、人口減少、少子高齢化の中、本当に必要なのか。他の公共施設などを活用してはどうかと言う意見もあります。 どのくらいの予算で建築を予定しているのか、また、国などの補助金が活用できるのか伺います。	町　長

◆　一般質問者：【議席番号　３番　川　村　　　淳　議員】　　　　　　Ｎｏ．２

質　問　事　項	質　問　の　要　旨	質問相手
１．大空高校生に対する大学等進学支援制度の創設について	令和３年に開校した大空高校は、地域の将来を担う人材育成に大きな役割を果たしており、総合学科として、生徒一人ひとりの進路希望に応じた教育を行い、大学、短期大学、専門学校、就職など幅広い進路選択を支援し、現在では進学率８割、中でも大学進学率は６割以上の実績となっております。 一方で、大学等への進学にあたっては、入学金、授業料、教材費、アパート契約費、引越費用など、多額の初期費用が必要となり、特にオホーツク地域から札幌圏や本州の大学へ進学する場合、保護者の経済的負担は非常に大きく、進学希望者の保護者にとって大きな壁となっています。 国や北海道においても奨学金制度は整備されていますが、多くは貸与型であり、卒業後の返済負担が伴います。 また、本町が策定している総合戦略では、「ひとを育む」「移住・定住の促進」が重要な柱として掲げられておりますが、将来の地域人材への投資として、町独自の進学支援制度を創設することは、教育施策であると同時に人口減少対策であり、地域活性化施策でもあると考えることから、次の項目について伺います。 １　大空高校開校以降の大学・短期大学・専門学校への進学状況について、どのように把握しているのか。 ２　進学に伴う経済的負担について、課題認識を持っているのか。 ３　町内出身の大空高校卒業生を対象とした大学等進学支援制度の創設について検討する考えはないか。 ４　大空高校の魅力化及び生徒確保の観点から、大学等進学支援制度を高校支援策の一つとして位置付ける考えはないか。	教育長 町　長

◆　一般質問者：【議席番号　８番　上　地　史　隆　議員】　　　　　　Ｎｏ．３

質 問 事 項	質　問　の　要　旨	質問相手
１．人口減少対策の取り組みについて	２０２５年国勢調査速報値が発表されました。２０２５年１０月１日時点のオホーツク管内の人口は２５万１，５３３人で、２０２０年の前回調査より２万１，８２９人の減少となり、人口減少が加速している現状が浮き彫りとなりました。本町においても他の自治体同様に人口減少が続いていますが、町が現在まで実施している施策の成果と課題をどのように捉えているのか。 また、今後も地域を維持していくために、どのような見解をお持ちなのか、下記の項目について伺います。 １　現在までの人口動態と総合戦略の進め方について ２　若年層の流出防止と新たな定住促進について ３　空き家の利活用と移住希望者の受け入れ体制について	町　長

◆　一般質問者：【議席番号　５番　森　賀　祐　司　議員】　　　　　Ｎｏ．４

質 問 事 項	質　問　の　要　旨	質問相手
１．町政執行方針について	本年４月の選挙により、松川町長が当選され２期目に入りました。本定例会において町政執行方針が示されましたので、以下の２点について町長の考えを伺います。 １　企業誘致の在り方の中で、「企業振興促進補助金」の助成基準等の見直しを行います。とありましたが、もっと町側から積極的に企業にアプローチすべきではないかと思いますが、考えを伺います。 ２　ゼロカーボン推進事業について、「再生可能エネルギーゾーニングマップ」が示されましたが、基幹産業が農業の大空町では太陽光発電の効率の良い場所は優良農地である事から、ほとんどが保全エリアとなっています。ゼロカーボン達成のための考えについて伺います。	町　長

◆　一般質問者：【議席番号　7番　岩　原　　　繁　議員】　　　　　Ｎｏ．５

質問事項	質問の要旨	質問相手
１．持続可能な地域医療体制の確保について	北海道新聞では地域医療の現状について連載特集が組まれ、医師不足や看護師不足、公立病院経営の厳しさなど、地域医療を取り巻く課題が報じられている。 本町においても高齢化が進行する中、町民が安心して暮らし続けるためには、身近な医療体制の維持・確保が極めて重要である。そこで本町の地域医療の現状と今後の対策について伺う。 １　本町の地域医療の現状認識について 本町における医師・看護師等の医療従事者の確保状況について、町長はどのように認識しているか。 また、今後１０年程度を見据えた場合の課題をどのように捉えているか。 ２　医療人材確保対策について 地域医療を維持するためには医師のみならず、看護師や介護職員などの人材確保が重要である。 本町における人材確保対策の現状と今後の取組について伺う。 また、将来的な地域定着を目的とした奨学金制度や修学資金貸付・援助制度の創設について検討する考えはないか。 ３　若者の地元定着に向けた取組について 近隣には東京農業大学オホーツクキャンパス、日赤北見看護大学をはじめ教育機関がある。 医療・介護・福祉分野において、大学や高校との連携による地域人材育成についてどのような考えを持っているか。 ４　在宅医療・訪問医療体制について 高齢化の進行により、病院で治療を受けるだけでなく、住み慣れた地域で療養を継続できる体制づくりが求められている。 本町における在宅医療や訪問看護体制の現状と課題について伺う。	町　長

◆　一般質問者：【議席番号　６番　鈴　木　秀　之　議員】　　　　　　　　　Ｎｏ．６

質問事項	質問の要旨	質問相手
１．暮らしを支える専門技術人材の確保について	本町においては、医療や介護分野では、人材確保対策が進められていますが、人材確保に関する課題はなかなか解消されない状況です。 医療介護分野以外においても地域社会を支える様々な専門職の人材不足が課題となっていると承知しています。 水道事業や建設業、自動車整備業などに従事する熟練技術者の技術継承と若手技術者の確保は、地域経済や住民生活の基盤を支えることにつながり、この地で生きる生活課題でもあると思います。 専門技術を有する人材が不足すれば、インフラ維持のみならず、地域サービスや観光振興にも影響を及ぼすことが懸念されます。 医療・介護人材の確保と同様に、本町の暮らしや産業を支える専門技術人材の確保も重要な課題であると考えます。 「地域の持続可能性を支える人材政策」として、人口減少が進む本町において、今後、重要性が高まる政策課題ではないかとの観点から次の項目について伺います。 １　医療・福祉人材確保対策の現状について ２　水道技術者や建設技術者など生活基盤、生命線を支える地域の専門技術人材確保の現状認識について ３　暮らしを支える技術・資格取得支援や事業承継支援を含めた「地域専門技術人材確保対策」の検討について	町　長